

福山市立想青学園にてアース製薬研究員による「サイエンス講座」を実施

3月3日(火)の「啓蟄の日」を前に、福山市立想青学園にて、9年生（52名）を対象とした「サイエンス講座」を実施しました。本講座は、福山市との包括連携協定に基づき、専門的な知識や体験を通じて質の高い教育につなげることを目的として開催されたものです。

当日は、当社研究部の浅井一秀研究員と飼育担当の瀬島愛が講師を務め、「生物の生態」と「自然との共生」をテーマに講義を行いました。プログラムでは、害虫の生態解説に加え、国内最大級の研究施設である赤穂研究所のバーチャル見学や、ヒトスジシマカの生体を用いた誘引・忌避実験を実演しました。生徒たちは、虫よけ剤「はだまも」の効果を目の当たりにし、実際に生きたゴキブリを観察するなどの貴重な体験を通じて、科学の力と日常生活の繋がりを学びました。受講した生徒からは、「勉強は人の役に立つためのものだとなった」、「人生をおもしろおかしく過ごしたいという言葉が印象に残った」といった声が寄せられ、知的好奇心を刺激するだけでなく、将来のキャリアや学習の意義を考える絶好の機会となりました。

当社は今後も福山市との連携を深め、次世代を担う子どもたちの科学的探究心を育む支援を続けていきます。

